

## 工業総合研究所所有装置

名称	差動型高温示差熱天秤装置	メーカー	(株)リガク	型式	TG-8120	取得	H17
概要	空気や窒素などの雰囲気下で試料を加熱することにより、試料重量変化および試料温度変化のデータを得ることができる装置で、試料が分解する温度や溶ける温度などがわかります。						
応用事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶ける温度によるプラスチック材料の物性評価(同定)</li> <li>材料の(酸化)分解温度が何℃であるか(耐熱温度など)</li> <li>材料の結晶構造が変化する温度が何℃であるか</li> </ul>						
主な仕様	加熱温度範囲: 室温~1350℃(最高温度1500℃) 加熱雰囲気: 空気、窒素、真空など						
測定時間	(準備時間+10~300分)/個(件)						
出力形態	画面に表示、印刷物、ワード、CSV						
試料等の制約	<ul style="list-style-type: none"> <li>試料はできれば粉体がよいが、塊状等である場合は直径5mm×高さ2.5~5mm程度の円筒状容器に入る大きさ</li> <li>窒素やヘリウムガス等の雰囲気で行う場合は、別途ガスの用意をお願いします。</li> </ul> <p>その他、お気軽にご相談ください。</p>						
使用料 手数料	機器貸出: 1,100円/時間 依頼試験: 8,600円/件						
お問い合わせ 工業総合研究所 技術支援部 横濱、宮川、奈良岡 TEL: 017-728-0900, FAX: 017-728-0903 e-mail: kou_souken@aomori-itc.or.jp							

